

## 2026年4月度 高島屋店頭売上速報

### ■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+11.8	柏 店	※2 △0.3
京 都 店	※1 +10.1	E C 店	+16.1
泉 北 店	+7.2	(株)高島屋各店計	+7.0
日 本 橋 店	+8.3	(株)高島屋各店 既存店計	※3 +8.3
横 浜 店	+6.1	岡 山 高 島 屋	△0.6
新 宿 店	+8.5	高 崎 高 島 屋	+5.9
玉 川 店	+4.5	国 内 百 貨 店 計	+6.8
大 宮 店	△0.9	国 内 百 貨 店 既 存 店 計	※3 +8.1

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

- ※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。
- ※2 「タカシマヤフードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。
- ※3 本年1月7日に営業を終了した「塚店」の前年実績を控除しています。

### ■ 概況

○前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高+6.8%(※+8.1%)、免税売上高+18.1%、免税を除いた店頭売上高+5.1%(※+6.6%)となりました。

○国内顧客は、春物衣料・雑貨に動きがみられたことや、食料品催事が堅調に推移したことで、前年実績を上回りました。

インバウンド顧客については、中国が前年実績を下回った一方、その他の国が伸長し、全体では前年実績を上回りました。

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、泉北店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、EC店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類・既存店対比)は、紳士服、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、呉服、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、食料品、食堂、サービスが前年実績を上回りました。

以 上